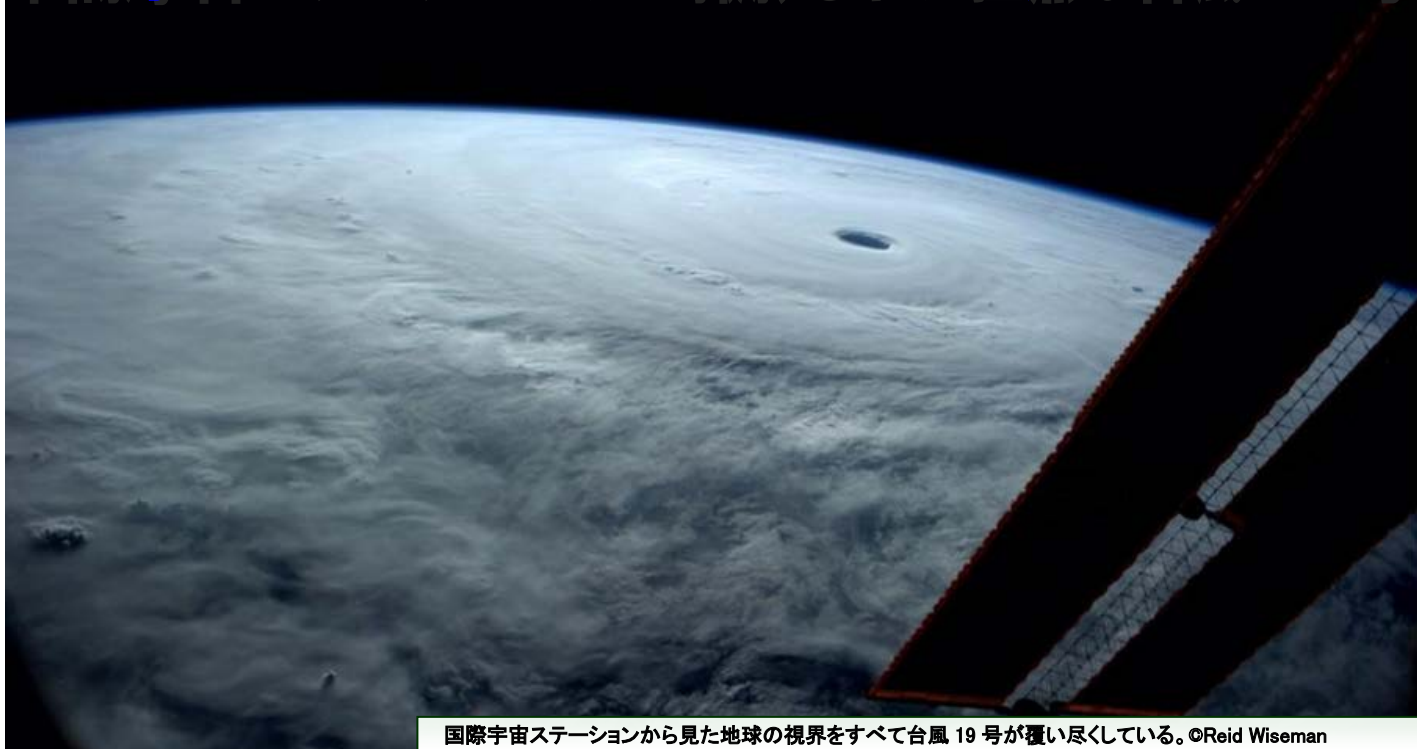


中心気圧が900ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は60メートルの「スーパー台風」

国際宇宙ステーションから撮影された猛烈な台風19号



国際宇宙ステーションから見た地球の視界をすべて台風19号が覆い尽くしている。©Reid Wiseman

非常に強い勢力を保ったまま日本に近づくおそれがあり、接近時は暴風や大雨に警戒を！

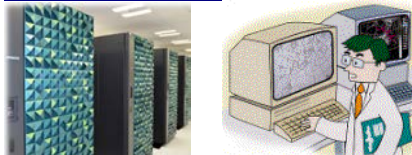
国際宇宙ステーションに長期滞在しているアメリカの宇宙飛行士、リード・ワイズマンさんは宇宙から見えた大型で非常に強い台風19号の写真を撮影し、自身のツイッターで公開しました。画面いっぱいに広がる白い大きな渦の中心には「台風目」がくっきり現れており、ワイズマンさんも「宇宙ステーションから多くの台風を見ているが、こんな台風はいままでになかった」と驚きを隠せないコメントを付けています。

天気予報ができるまで

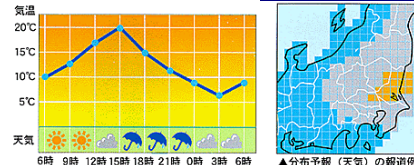
24時間様々な手段で観測データ収集
気象衛星ひまわり/アメダス/ゾンデ/レーダ/航空機・船舶などの観測データ



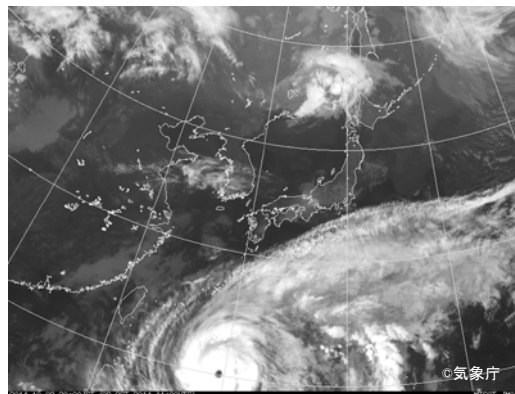
スーパーコンピュータが天気予報の資料作成



天気予報の資料を元に予報官が判断下さ



天気の移り変わり、降水確率、最高・最低気温などの予報が発表され、テレビ・新聞・インターネットで広く報じられる。 ©気象庁


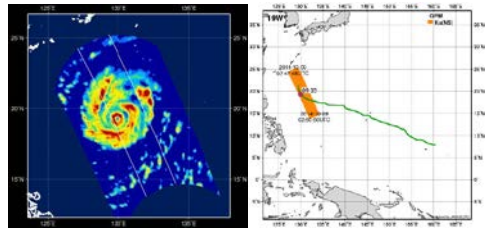


同じ日に気象衛星ひまわりが撮影した日本周辺の様子

さらに詳しく知りたい方はコチラ

宇宙ワクワク大図鑑「小天体と隕石(いんせき)」
<http://www.kids.isas.jaxa.jp/zukan/solarsystem/asteroid01.html>

【おすすめ図書】 「図解-台風の科学」
著者：上野充、山口宗彦
発行：講談社ブルーバックス
定価：950円
ISBN：978-4-06-257778-6
台風を生むメカニズムを解説。台風予報の最前線から地球温暖化の影響まで迫ります。

左図は GPM 主衛星が捉えた同日の台風19号の降水分布。中心では1時間に30ミリ以上の強い雨が降っている。右図はデータの取得範囲。

Spacei 宇宙かわら版 2014年10月10日号

問い合わせ先：Spacei事務局（財団法人日本宇宙フォーラム）
ホームページ：<http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ：https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/
※特に断りのない限り日付は日本時間です。©Reid Wiseman, JAXA/EORC, 気象庁

